



NPO法人 門真市手をつなぐ育成会 にじいろだより

571-0048 門真市新橋町 26-18

Tel 090-9278-9238

Email : kadoma_tewotunaguikuseikai@ybb.ne.jp

ごあいさつ

新年度を迎え、会員・賛助会員の皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、平素のご支援を心から感謝申し上げます。

5月から「令和元年」がスタートしました。さて、どのような時代になるのでしょうか。振り返りますと平成には、障がい福祉に関わる法律や条例、福祉事業、福祉サービスが大きく動きました。「措置」から「契約」になり、個々のニーズに合った仕事、福祉サービス、暮らしを選べる制度になると期待をしましたが、現実のところは選べるほど就労、福祉事業所や福祉サービスなどはありません。今までと異なることは、社会福祉法人以外に株式会社や一般企業が福祉事業に参入し、福祉サービスは多様化しています。

門真市では、平成最後の31年4月に、門真市地域生活支援拠点が開所しました。また、平成30年4月から、「門真市障がい者差別解消専門部会（準備委員会）」、「門真市地域定着・地域支援部会」に、当会より委員が出席できるようになりました。以前より、障がいのある人に関わる会議に当事者を参画させていただくようお願いしていたことで、当事者でしかわからない困りごとを伝える機会が少しだけできました。

さて、令和は、少子高齢化の課題が取り上げられています。人に代わり、ロボットや人工頭脳の力に期待しますが、多様な支援が必要な障がいのある人には、どうしても人の支援が必須です。

来年の東京オリンピックチケット販売開始のニュースがありました。オリンピック・パラリンピックの開催を機に、各分野でますます多様化され、社会は変化していくでしょう。私たちは現況に満足せず、今では当たり前に行けること、福祉サービスの利用や事業所に通えること、余暇支援などなど、先輩親御さんたちが、本人の困りごと、親の困りごとを発信し活動して下さって出来てきたものということを忘れずに社会の変化に対応できる会活動を目指し、歩みを進めていきたいものです。

会員・賛助会員の継続と 新規入会のごお願い

会員のみならず、賛助会員のみならず方には、平素より当会の活動にご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

当会は、障がいのある人の地域での暮らしがより良いものになるように、つながりを大切にしながら会活動を進めていきます。

門真市での社会資源のひとつとして会活動を進めていくためには、より多くのみなさまのお力を必要とします。一人でも多くの方とつながると共に、会活動に興味や関心を持っていただけた方にも、賛助会員として支えていただければ幸いです。

また、今年度も引き続き、みなさま方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

- ・ 会員会費 … 一括と半期毎の納入
- ・ 賛助会員 年会費 … 一〇一、〇〇〇円

会員・賛助会員ともご入会は、随時です。



NPO法人 門真市手をつなぐ育成会

❁ グループホーム“和み”の内覧会に行きました



和み

<グループホーム>

5月9日、門真市内に会員さんの持ち家を改装して立ち上げられたグループホーム“和み(なごみ)”の内覧会のご案内をいただき見学に行きました。

まず、重度の障がいのある人の支援ができるグループホームを運営してくれるところを探して、入居予定者の保護者の方が長年にわたるわが子のための終の棲家への想いを込めて、お金も意見も出して作り上げられました。

代表の方は、福祉サービスが無い時代に無認可作業所を立ち上げ、障がい者の卒業後に過ごす場所と社会参加のために、また当会の前進のためにご尽力いただいた諸先輩方のおひとりです。

建物は、古民家で広い庭付の立派な門構えの一軒家です。閑静な住宅街にあり、とても趣きがあり見学者の親たちも住みたいと思う家でした。

二階建ての二階は閉めて、一階だけを使い、4部屋をご本人たちの好むお部屋に改装され、それぞれの名札が掛けてあり、ご本人たちが生活される様子が思い浮かびます。

そしてまた、「これで終わりとは思ってないよ、良い支援を求めるためには多くのグループホームができて、協力し合って世話人さんを育てることが大事でしょ。あなたも作って！応援するよ。」と、同じ親として子どもの幸せのためにできることをしていく姿を見せてもらい、とても嬉しい時間でした。また、ご本人の入居後の生活の様子をお伺いしたいと思っています。

今日の内覧会までの先輩保護者の方々のご苦勞を思うと頭が下がる想いでした。あとに続く者として大切なお手本を示してもらった内覧会でした。

❁ 元気の出る情報・交流誌「手をつなぐ」購読のご案内

「手をつなぐ」は、全国手をつなぐ育成会連合会が、毎月発行している機関誌です

知的な障害のある当事者のために、「全国手をつなぐ育成会連合会」が編集・発行している「手をつなぐ」は、知的な障害のある人の暮らしに役立つ情報が満載です

知的な障害のある人の親・家族をはじめ、福祉・教育・行政関係者などにも愛読され、50年以上の歴史を刻んでいます。

※「手をつなぐ」の購読料(3,900円)は、全国手をつなぐ育成会連合会賛助会員年会費となります。4月から翌年3月までの年単位での申し込みをお願いしています。



NPO 法人 門真市手をつなぐ育成会 TEL 090-9278-9238

❁ 天皇、皇后両陛下（現上皇、上皇后）の茶会へ

3月25日午後、天皇陛下即位30年に伴い、京都御所で茶会が開かれ、近畿2府4県の各界の代表者200人余りが招かれました。

全国手をつなぐ育成会連合会久保厚子会長も列席し、天皇、皇后(現上皇、上皇后)両陛下に「全国手をつなぐ育成会連合会の久保です。」とご挨拶した時、陛下が、「ああ大切なお仕事をされていますね。」とお言葉をかけてくださり、美智子さまからも“手をつなぐ”の冊子のことを指で四角く形を示してくださって「読んでいますよ」と、にこやかに言葉を交わしていただいたと4月の支部連絡会で久保会長ご本人からお聞きして、感銘を受け身が引き締まる想いがしました。

